

氏名 \_\_\_\_\_

次の連結財務諸表に関する資料における、①～⑤に当てはまる数値を答えなさい。

## 【資料】

1. P社は×1年4月1日にS社の発行済株式総数(5,000株)の(①)%を320,000千円で取得して支配を獲得し、それ以降S社を連結子会社として連結財務諸表を作成している。×1年4月1日におけるS社の純資産の内訳は、資本金400,000千円、利益剰余金50,000千円であった。なお、のれんの償却は、発生年度より(②)年間で均等償却を行っている。また、S社は配当を行っていない。
2. P社およびS社の当期の貸借対照表および損益計算書は、次のとおりである。

## 貸借対照表

×2年3月31日

(単位:千円)

資 産	P 社	S 社	負債・純資産	P 社	S 社
諸 資 産	940,000	504,000	諸 負 債	200,000	180,000
売 掛 金	250,000	100,000	買 掛 金	150,000	80,000
貸倒引当金	△ 10,000	△ 4,000	資 本 金	1,200,000	400,000
商 品	500,000	200,000	利 益 剰 余 金	450,000	140,000
S 社 株 式	320,000	—			
	2,000,000	800,000		2,000,000	800,000

## 損益計算書

×1年4月1日～×2年3月31日

(単位:千円)

	P 社	S 社
売 上 高	1,500,000	800,000
売 上 原 価	900,000	600,000
売 上 総 利 益	600,000	200,000
販 売 費 お よ び 一 般 管 理 費	380,000	120,000
営 業 利 益	220,000	80,000
営 業 外 収 益	150,000	50,000
営 業 外 費 用	120,000	40,000
当 期 純 利 益	250,000	90,000

3. P社は当期においてS社に対して商品を販売しており、その売上高は(③)千円である。S社のP社からの商品仕入高は(③)千円である。なお、S社の期末商品のうちP社から仕入れたものはなかった。
4. ×2年3月31日現在、P社の売掛金にはS社向けの売掛金(④)千円が含まれている。P社は売掛金に対して一律に(⑤)%の貸倒引当金を設定している。
5. 当期の連結貸借対照表および連結損益計算書は、次のとおりである。

## 連結貸借対照表

×2年3月31日

(単位:千円)

諸 資 産	1,444,000	諸 負 債	380,000
売 掛 金	300,000	買 掛 金	180,000
貸倒引当金	△ 12,000	資 本 金	1,200,000
商 品	700,000	利 益 剰 余 金	501,000
の れ ん	45,000	非支配株主持分	216,000
	2,477,000		2,477,000

## 連結損益計算書

×1年4月1日～×2年3月31日 (単位:千円)

売 上 高	2,000,000
売 上 原 価	1,200,000
売 上 総 利 益	800,000
販 売 費 お よ び 一 般 管 理 費	503,000
営 業 利 益	297,000
営 業 外 収 益	200,000
営 業 外 費 用	160,000
当 期 純 利 益	337,000
非支配株主に帰属する当期純利益	36,000
親会社株主に帰属する当期純利益	301,000

①	②	③	④	⑤